

 株式会社 山下設計 YAMASHITA SEKKEI INC. ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS		資格/番号	記名	製 図	用 意	訂正	特記	令和 8 年度 地域交流センター整備工事	図面内容	図面番号	
	代 表 設計者	一級建築士 第271562号	下村 龍治	神谷・山田 2025.9.30	下村 2025.10.31					改修特記仕様書 1	1001
	用 意 設計者	一級建築士 第333185号	谷口 太郎							縮尺	NS

5

建具改修工事

11. 木製建具

建具材の加工、組立時の含水率
※A種
・
建物内部の木製建具に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
・
①フラッシュ戸
表面材のホルムアルデヒド放散量等
※改修標準仕様書5. 7. 2 (2) (イ) (a) による
・
表面材の合板の種類
合板の種類規格等備考
・普通合板表面の樹種
・
板面の品質（※広葉樹1等）
・
接着の程度（・1類 ・2類）
・
樹種名（ ）
・
接着の程度（・1類 ・2類）
・
天然木化粧合板
・
特殊加工化粧合板化粧加工の方法
※プリント
・ポリエステル化粧合板
・メラミン化粧合板
・
接着の程度（・1類 ・2類）
・
MDF
・
表面板の厚さ
※改修標準仕様書表5. 7. 6Iによる
・
引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用
・適用しない ・適用する
・かまち戸
かまち樹種（ ） 鏡板樹種（ ）
見込み寸法
※36mm ・建具表による ・
・ふすま
張りの種別（・Ⅰ型 ・Ⅱ型）
上張り（押入等の裏側以外）
・鳥の子 ※新鳥の子又はビニル紙程度
縁仕上げ
・塗り縁 ・生地縁（素地） ・生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
見込み寸法
※19. 5mm ・建具表による ・
・戸ぶすま
表面板の仕上 ・建具表による ・
見込み寸法
※30mm ・建具表による ・
・紙張り障子
見込み寸法
※30mm ・建具表による ・
枠、くつずりの材料
・建具表による ・

<5. 7. 2～4>

12. 建具用金物

金物の種類及び見え掛り部の材質等
※改修標準仕様書表5. 8. 1により適用は建具表による
・
金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※改修標準仕様書表5. 8. 2による
・建具表による
樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※改修標準仕様書表5. 8. 3による
・建具表による
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※改修標準仕様書表5. 8. 4による
・建具表による
木製建具に使用する戸車及びレール
※改修標準仕様書表5. 8. 5による
・建具表による
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置
・建具表による
・

<5. 8. 1～3>

13. 鍵

マスターキー
・製作する
・製作しない
①既存のマスターキーに合わせる
その他の鍵の製作本数
※各室3本1組（室名札付き）
・
鍵箱
①無し ・有り

<5. 8. 4>

19. ガラス

・フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類
※建具表による
・
・型板ガラスの厚さによる種類
※建具表による
・
・網入板又は線入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類
※建具表による
・
・合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ
※建具表による
・
落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類 ・Ⅱ-Ⅰ類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類

<3. 7><5. 14. 2～4>

21. ガラス用フィルム

ガラスの留め材及び溝の大きさ
建具の種類ガラス留め材ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製・シーリング材
・グレイジングチャンネル
・
※建具の製造所の仕様による
・図示による
・
銅製及び銅製軽量・シーリング材
・
※建具の製造所の仕様による
・図示による
・
ステンレス製・シーリング材
・
※建具の製造所の仕様による
・図示による
・
樹脂製・グレイジングガスケット
・
※建具の製造所の仕様による
・図示による
・
種類記号
内貼り用外貼り用その他性能等
・日射調整フィルム
・SC-1
・SC-2
・
・低放射フィルム
・LE
・
・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム
・G1-1
・G1-2
・
・相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム
・GD-1
・GD-1
・
・ガラス貫通防止フィルム
・SF
・
①図示仕様による
・
品質は、JIS A 5759による。

<6. 1. 3>

<6. 2. 2>

<6. 3. 2>

<6. 5. 2>

5. 製材

・JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材
施工箇所寸法(mm)等級含水率保存処理
※2級
・
※A種 ・B種
・
※2級
・
※A種 ・B種
・
・JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材
施工箇所寸法(mm)等級含水率保存処理
見え掛り面※上小節
・
※A種 ・B種
・
見え掛り面以外※小節以上
・
※A種 ・B種
・
・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材
施工箇所寸法(mm)等級含水率保存処理
※1等
・
※10%以下
・A種 ・B種
・
※1等
・
※10%以下
・A種 ・B種
・
・JAS 1083（製材）以外の製材
施工箇所寸法(mm)材面の品質防虫処理含水率
（ ）
・
造作材の場合
（※A種 ・B種）
・適用する
・適用しない
※A種 ・B種
・
（ ）
・
造作材の場合
（※A種 ・B種）
・適用する
・適用しない
※A種 ・B種
・
・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材
施工箇所品名樹種名寸法(mm)見付け材面見付け材面の品質
図示
図示
※1等 ・2等
・
・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材
施工箇所品名材種名寸法(mm)化粧薄板の厚さ(mm)見付け材面見付け材面の品質
化粧薄板：
芯材：
・
※1等
・2等
化粧薄板：
芯材：
・
※1等
・2等
・
・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材
施工箇所材種名寸法(mm)見付け材面の品質含水率
図示
図示
※15%以下
・
・
・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材
施工箇所材種名寸法(mm)化粧薄板の厚さ(mm)見付け材面の品質含水率
化粧薄板：
芯材：
化粧薄板：
芯材：
・
※15%以下
・
※15%以下
・
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
・
・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理
適用部材保存処理性能区分
・K2 ・K3 ・K4
・K2 ・K3 ・K4
・K2 ・K3 ・K4
・
・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理
適用部材処理の方法薬剤の種類
※薬剤の製造所の仕様による
・
※JIS K 1571Iに適合又は同等品
・
・薬剤の接着材への混入による防腐、防蟻処理
適用部位（ ）
・合板等の加圧注入処理の適用
適用部位（ ）
・
・間仕切軸組に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
※杉又は松
・
・床組みに用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
※杉又は松
・
・
・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)
※吊元桟、水掛りの下桟及び敷居はひのき、その他は松又は杉
・
・
野縁等の種類
屋外
※25形 ・19形
屋内
※19形 ・25形

<6. 5. 2>

<6. 5. 3、4>

<6. 5. 5>

<6. 5. 6>

<6. 5. 7>

<6. 6. 2～4>

6. 造作用集成材

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材
施工箇所品名樹種名寸法(mm)見付け材面見付け材面の品質
図示
図示
※1等 ・2等
・
・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材
施工箇所品名材種名寸法(mm)化粧薄板の厚さ(mm)見付け材面見付け材面の品質
化粧薄板：
芯材：
・
※1等
・2等
化粧薄板：
芯材：
・
※1等
・2等
・
・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材
施工箇所材種名寸法(mm)見付け材面の品質含水率
図示
図示
※15%以下
・
・
・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材
施工箇所材種名寸法(mm)化粧薄板の厚さ(mm)見付け材面の品質含水率
化粧薄板：
芯材：
化粧薄板：
芯材：
・
※15%以下
・
※15%以下
・
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
・
・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理
適用部材保存処理性能区分
・K2 ・K3 ・K4
・K2 ・K3 ・K4
・K2 ・K3 ・K4
・
・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理
適用部材処理の方法薬剤の種類
※薬剤の製造所の仕様による
・
※JIS K 1571Iに適合又は同等品
・
・薬剤の接着材への混入による防腐、防蟻処理
適用部位（ ）
・合板等の加圧注入処理の適用
適用部位（ ）
・
・間仕切軸組に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
※杉又は松
・
・床組みに用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
※杉又は松
・
・
・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)
※吊元桟、水掛りの下桟及び敷居はひのき、その他は松又は杉
・
・
野縁等の種類
屋外
※25形 ・19形
屋内
※19形 ・25形

<6. 5. 2>

<6. 5. 3、4>

<6. 5. 5>

<6. 5. 6>

<6. 5. 7>

<6. 6. 2～4>

15. 軽量鉄骨壁下地

屋外の形式及び寸法
野縁受、つりボルト及びびンサートの間隔
・図示による
・
周辺部の端からの間隔
・図示による
・
野縁の間隔
・図示による
・
既存の埋込みインサート
・使用する ・使用しない
あと施工アンカーの施工後の確認試験
・行う
試験箇所数 ※屋外の場合、当該階において3箇所
・（ ）箇所
引張試験にて確認する強度
※吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構
成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/㎡以内の天井の
場合は400N程度
・（ ）N
※行わない
・つりボルトの間隔が900mmを超える場合
（補強方法 ※図示による
・
）
・天井のふところがあるが3. 0mを超える場合
（補強方法 ※図示による
・
）
・天井下地材における耐震性を考慮した補強
（補強箇所 ※図示による
・
）
（補強方法 ※図示による
・
）
スタッド、ランナーの種類
※改修標準仕様書表6. 7. 1Iによるスタッドの高さによる区分に応じた種類
・図示による
・
スタッドの高さが5. 0mを超える場合
※図示による
・
出入口及びこれに準ずる開口部の補強
※改修標準仕様書6. 7. 4 (5) による
・

<6. 7. 3、4><表6. 7. 1>

16. ビニル床シート

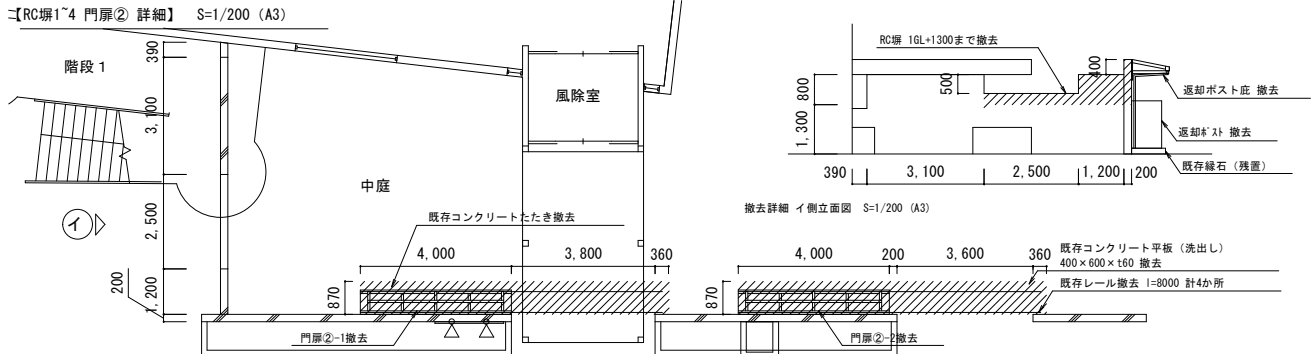
種類（ ）
色柄（ ）
性能（ ）
厚さ(mm)（ ）
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・<

6 内装改修工事	25. せっこうボード その他のボード 及び合板張り	MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※改修標準仕様書6.13.2(2)(イ)の(a)～(d)のいずれか ・ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 表面への化粧張り等の加工 ※図示による ・	<6.13.2、3>	26. 壁紙張り	ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・	<6.14.2、3>	7 塗装改修工事	① 材料	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ 防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所： ・	<7.1.3>		つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(コンクリート面、モルタル面、せっこうプラ スター面、せっこうボード面、その他ボード面)の塗替えの場合のしめ止め ※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをしめ 止めシーターとする ・ 合成樹脂エマルションペイント塗りの塗替えの場合のしめ止め ※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをしめ 止めシーターとする ・ クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用 ・適用しない ・適用する(着色剤： ・溶剤系着色剤 ・油性染料着色剤) ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用 ・適用する ・適用しない オイルステイン塗りの工程等 ・
				27. モルタル塗り	モルタル ・現場調査材料 ・既調査材料 既製目地材 ・設ける ・設けない 床の目地 ・設ける 目地割り ※2m程度(最大目地間隔3m程度) ・ 目地の種類 ※押し目地 ・ ・設けない 壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の下地処理 ・図示による ・	<6.15.3、5、6>		② 下地調整	塗替えRB種の場合の既存塗膜の除去範囲 ※劣化部分は除去し、活膜部分は残す ・図示による ・ 既存錆止め塗料の鉛含有量調査 ・行う(箇所) ○行わない 下地調整	<7.2.1～7>		
								③ 素地ごしらえ			<7.3.2～7>	
								④ 錆止め塗料 塗り			<7.4.2、3>	
								⑤ 塗装			<7.5.2～7.12.2>	

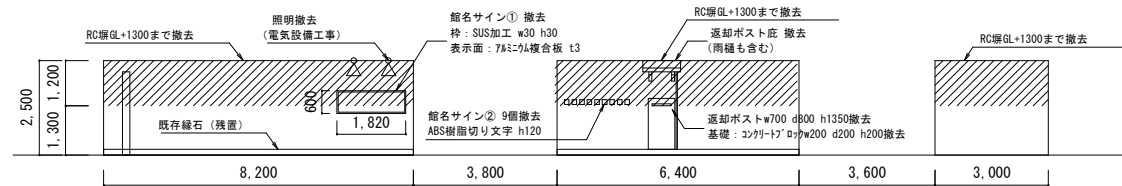
 株式会社 山下設計 YAMASHITA SEKKEI INC. ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS		資格/番号	記名	製 図	用 意	訂正	特記	令和 8 年度 地域交流センター整備工事	図面内容 改修特記仕様書 4	図面番号 1004
	代 表 設計者	一級建築士 第271562号	下村 龍治	神谷・山田 2025.9.30	下村 2025.10.31					
	担 当 設計者	一級建築士 第333185号	谷口 太郎						縮尺 NS	区分 建築意匠図

樹木規格	○：伐根 數量	×：伐採伐根 數量
幹周115～150cm未満	4	3
幹周85～115cm未満	—	2
幹周60～85cm未満	3	7
幹周40～60cm未満	—	5
幹周25～40cm未満	—	2
幹周15～25cm未満	—	—
幹周15cm未満	—	—
低木 (H1.2 幹周:40cm)	—	5

二【RC塀1~4 門扉② 詳細】 S=1/200 (A3)

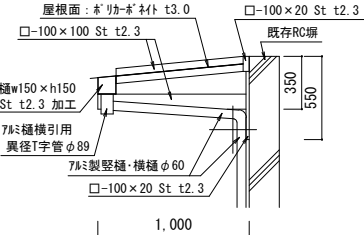


撤去詳細平面図 S=1/200 (A3)

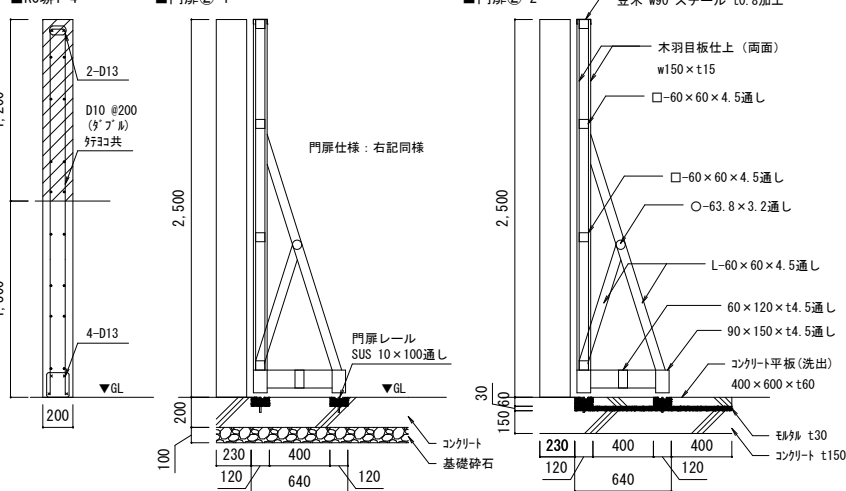


撤去詳細 口側立面図 S=1/200 (A3)

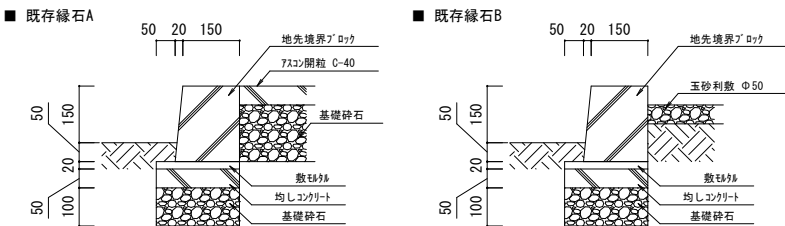
【返却ポスト底詳細】 S=1/50 (A3)



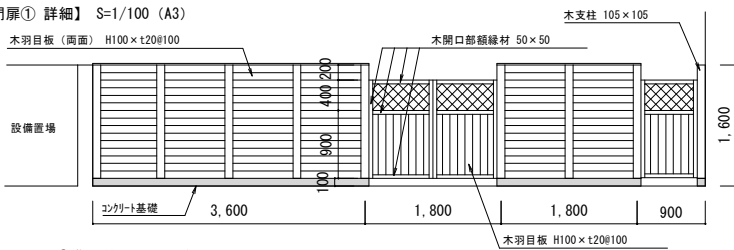
【RC塀1~4 門扉② 詳細】 S=1/50 (A3)



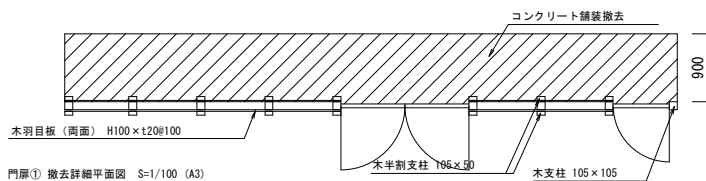
【撤去縁石 詳細】 S=1/20 (A3)



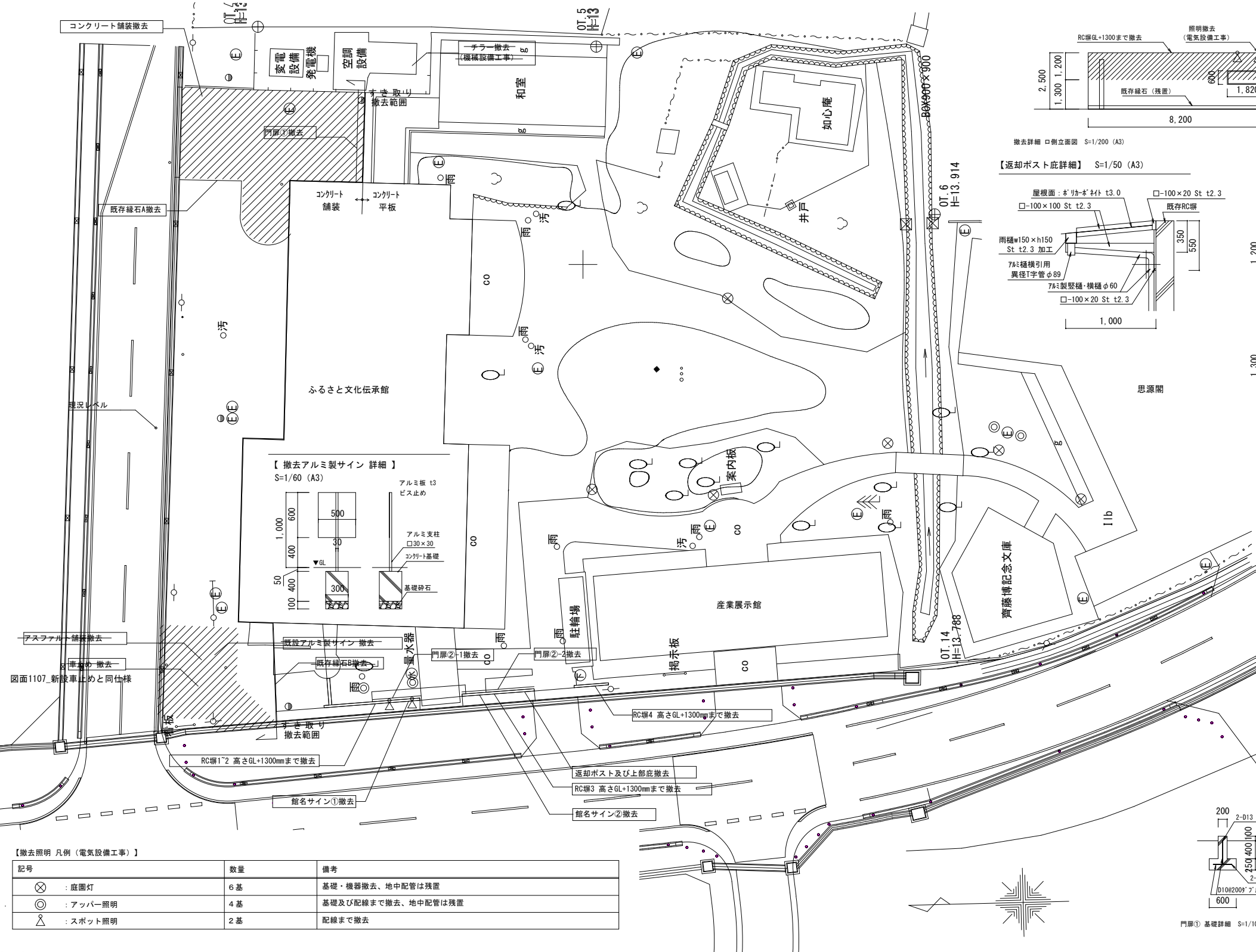
【撤去門扉① 詳細】 S=1/100 (A3)



門屏① 撤去詳細立面圖 S=1/100 (A3)



門扉① 撤去詳細平面圖 S=1/100 (A3)



門扉① 基礎詳細 S=1/100 (A3)

 株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.
ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS

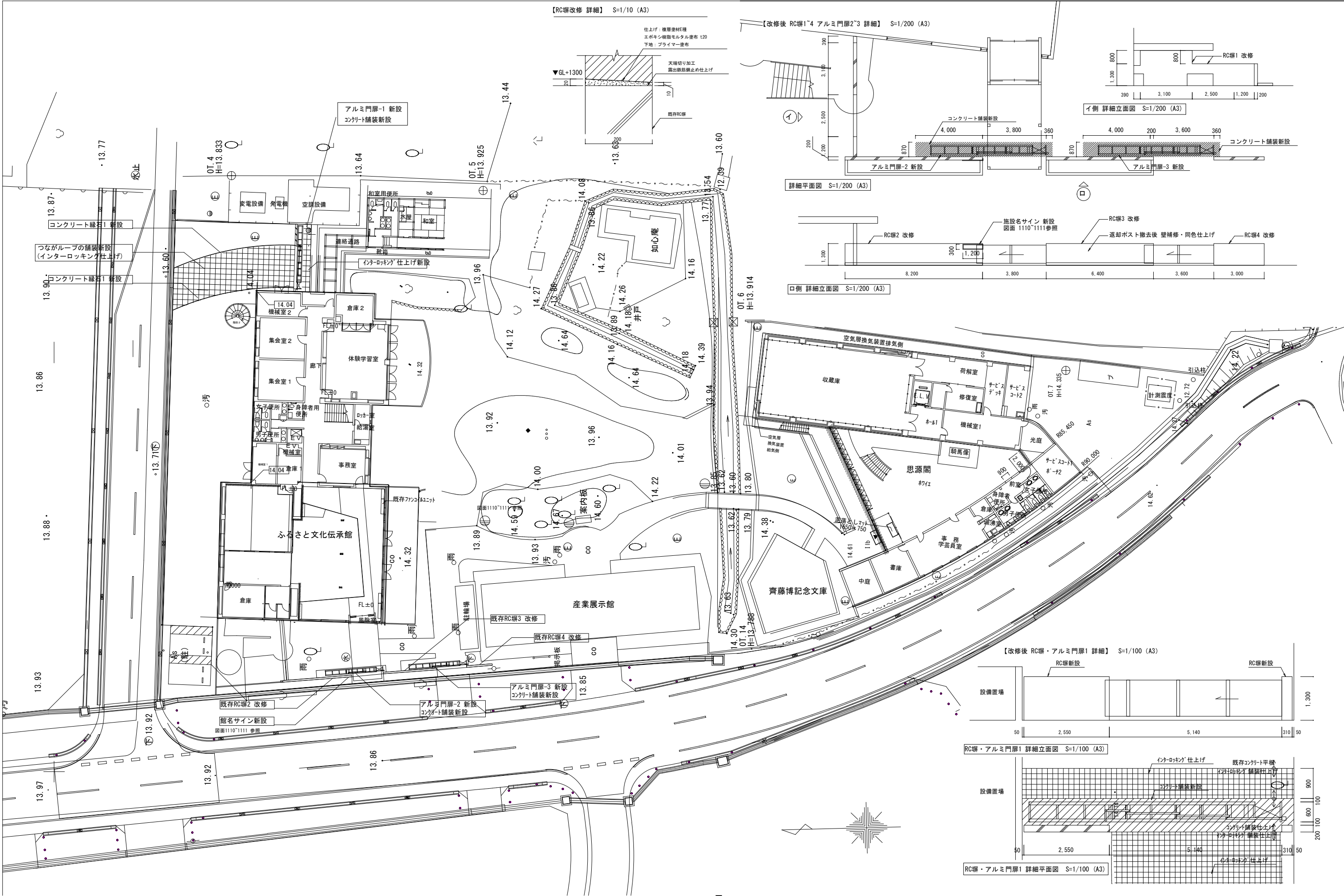
	資格/番号	記名	製 図	照 査
代 表 設計者	一級建築士 第271562号	下村 龍治	神谷・山田 2025.9.30	下村 2025.10.31
担 当 設計者	一級建築士 第333166号	谷口 太郎		

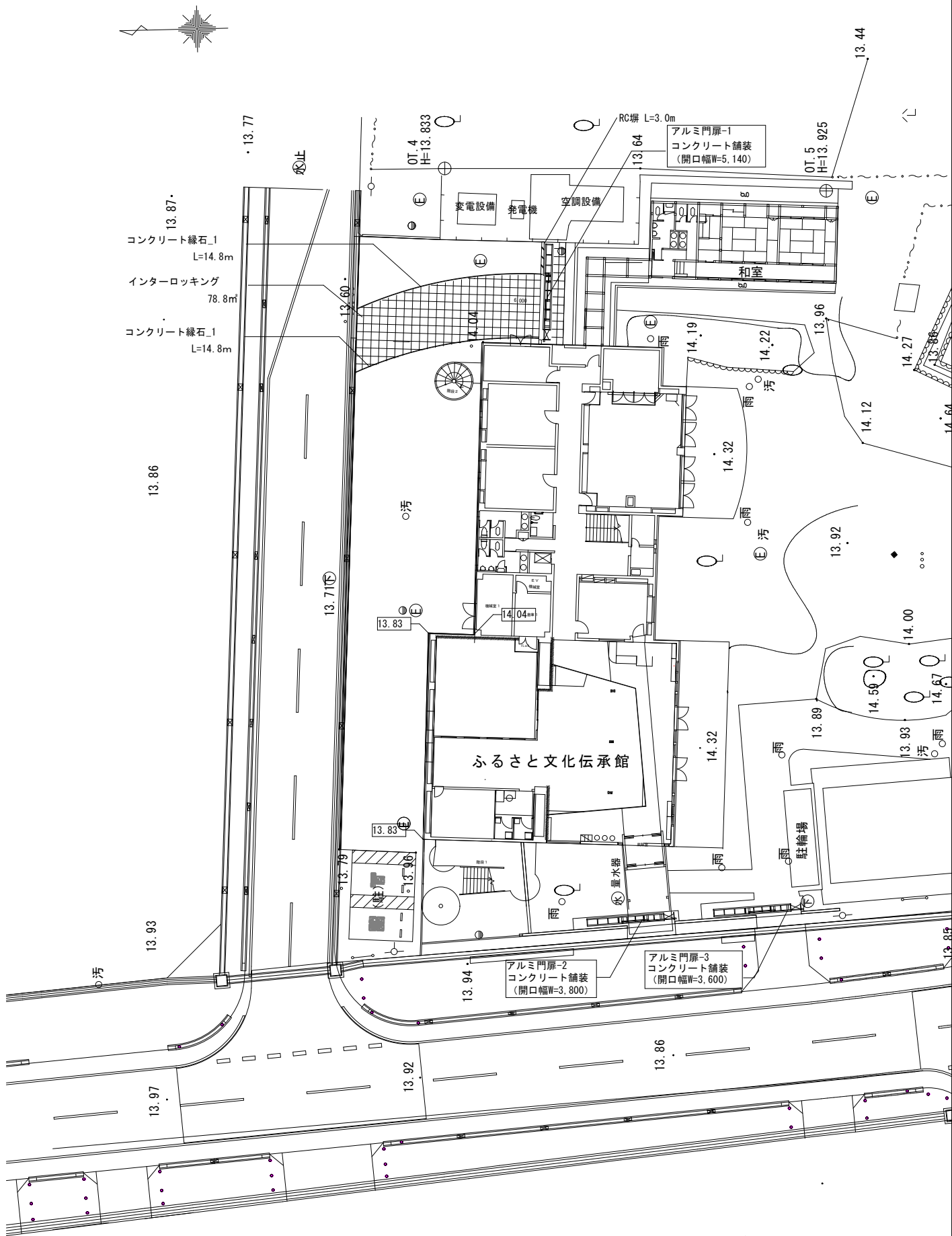
訂正

特記	
----	--

令和8年度 地域交流センター整備工事

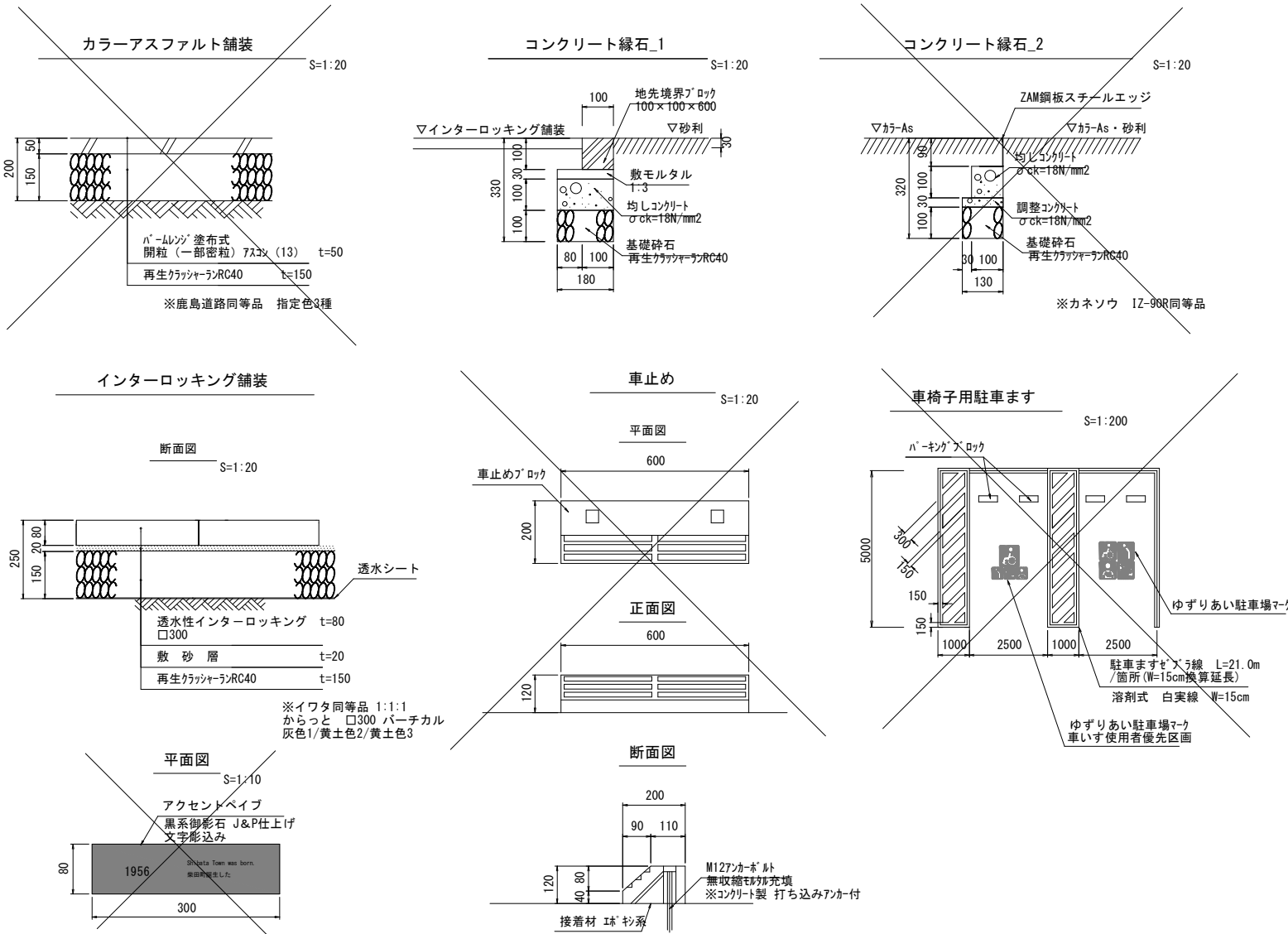
図面内容	図面番号
しばたの郷土館 外構現況・撤去図	1007
縮尺 A1:1/200 A3:1/400	区分 建築意匠図





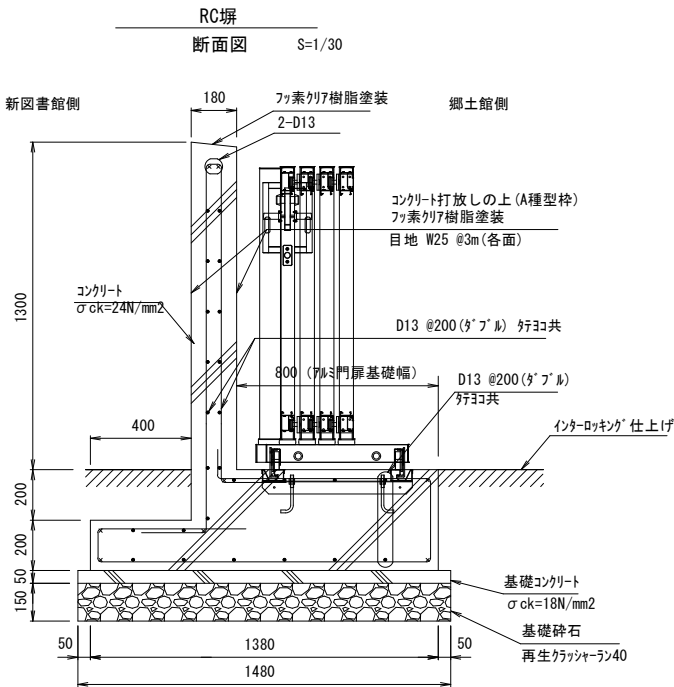
付帯施設設計画平面図 1/400

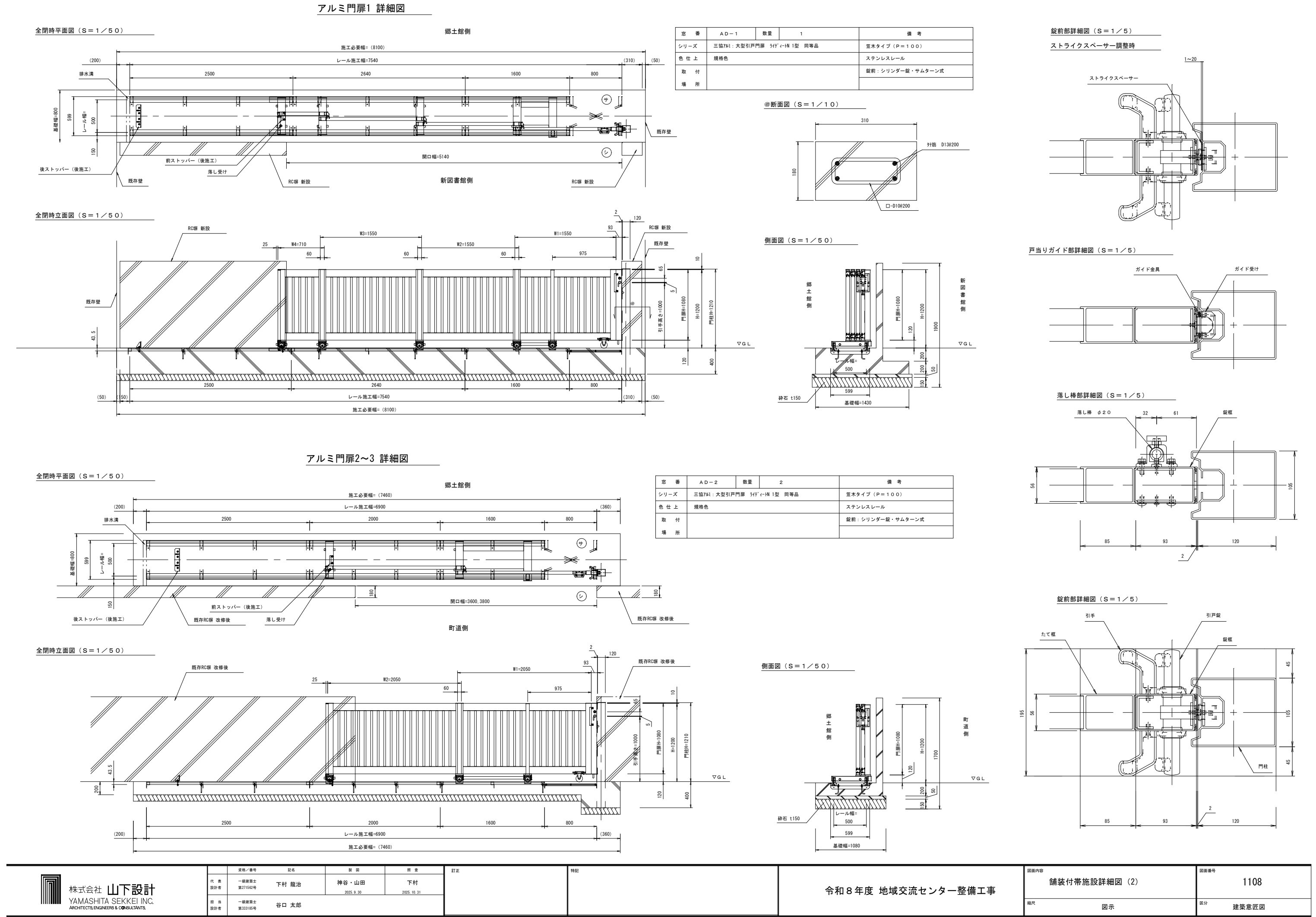
凡例
：インターロッキング



付帯施設数量一覧表

種 別	細別・規格等	単 位	数 量
カラーアスファルト	鹿島道路同等品 指定色3種	m ²	435.9
インターロッキング	イワタ同等品 1:1:1 からっと □300 ハーフ緑 灰色1/黄土色2/黄土色3	m ²	78.8
コンクリート舗装	-	m ²	21.7
コンクリート緑石_1	境界ブロック B100xH100	m	14.8
コンクリート緑石_2	境界ブロック B100xH100	m	29.6
RC塀	コンクリート打ち放し H=1.3m	m	3.0
アルミ門扉-1	H=1.2m	m	5.1
アルミ門扉-2	H=1.2m	m	3.8
アルミ門扉-3	H=1.2m	m	3.6
車いす用駐車マス	W=3.50m L=5.00m	台	2
駐車マス用車止め	L600xW200xH120	組	2
車止めポール	ステンレスチェーン付き	基	19





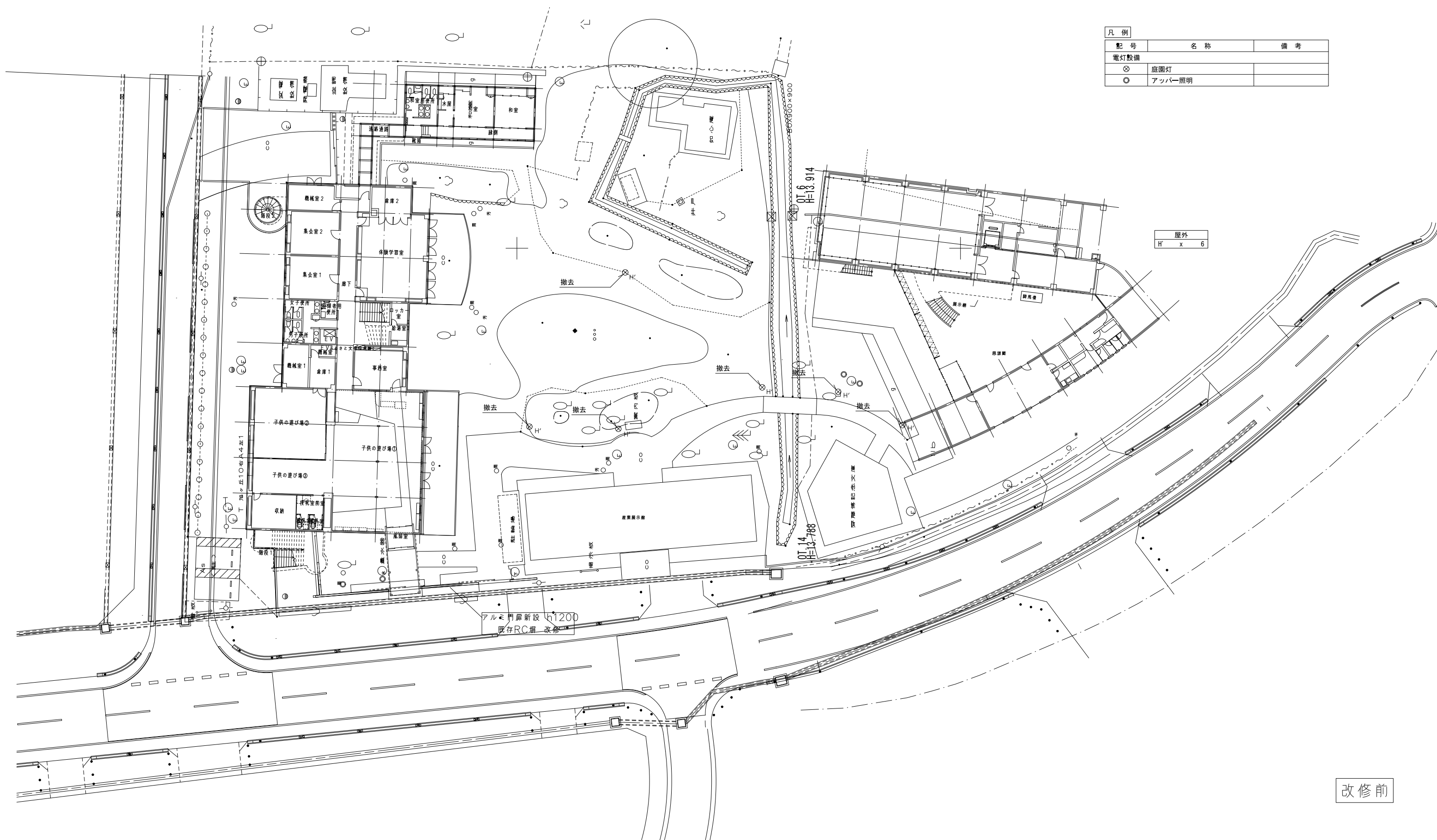
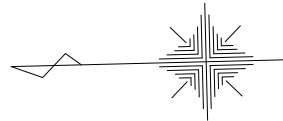
No. EX-01 名称施設名サイン① 設置形式壁付 備考 本体：SUS加工／フッ素焼付け塗装仕上 文字：ABS樹脂切文字塗装仕上 野線：塩ビシート加工	No. EX-02 名称施設案内サイン 設置形式自立 備考既存案内板の上に増し貼り 本体：アルミ複合板増し張り／D15 塗装仕上＋インクジェット出力シート貼	No. EX-03 名称施設案内サイン② 設置形式壁付 備考 本体：SUS加工／フッ素焼付け塗装仕上 文字：ABS樹脂切文字塗装仕上 野線：塩ビシート加工	No. A-01 名称総合案内サイン 設置形式壁付 備考 I：H200／D15 木板切文字 塗装仕上＋塩ビシート切文字貼 文字：H100・50／D15 木板切文字 塗装仕上 MAP：D15 塗装仕上＋インクジェット出力シート貼(輪郭カット) 木加工(MDF)
No. B-01 名称衝突防止サイン 設置形式ガラス付 備考 表示：塩ビシート切文字	No. Y-01 名称誘導サイン(授乳室) 設置形式突出 備考 本体：アクリルマット BOX 加工 表示：塩ビシート切文字貼 ブラケット：St.曲げ加工／焼付塗装	No. Y-02 名称誘導サイン(和室) 設置形式壁付 備考 表示：塩ビシート切文字	No. Y-03 名称誘導サイン 設置形式床付 備考 表示：床用塩ビシート切文字 (3M：フロアマーキングフィルム同等品)
No. Y-04 名称くつぬぎサイン 設置形式床付 備考 表示：床用塩ビシート切文字 (3M：フロアマーキングフィルム同等品)	No. K-01 名称室名サイン 設置形式扉付 備考 表示：塩ビシート切文字貼	No. P-01 名称ピクトサイン(授乳室) 設置形式壁付 備考 本体：アクリル板 t3.0 表示：インクジェット出力シート巻込ナシ 掲板：アルミ複合板 t3.0	No. U-01 名称遊び場フロアサイン 設置形式壁付 備考 表示：インクジェット出力巻込貼 掲板：アルミ複合板 3t
No. U-02 名称遊び場エリアサイン 設置形式床付 備考 表示：床用塩ビシート切文字 (3M：フロアマーキングフィルム同等品)			

 株式会社 山下設計 YAMASHITA SEKKEI INC. ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS		資格／番号	記名	製 図	照 査	訂正	特記 サインデザインの詳細については、施工前に現場監督員と協議の上、決定するものとする。	令和8年度 地域交流センター整備工事	図面内容 サイン意匠図	図面番号 1111
	代 表 設計者	一級建築士 第271562号	下村 龍治	神谷・山田 2025.9.30	下村 2025.10.31					
	担 当 設計者	一級建築士 第333185号	谷口 太郎							

[illegible]

[illegible]

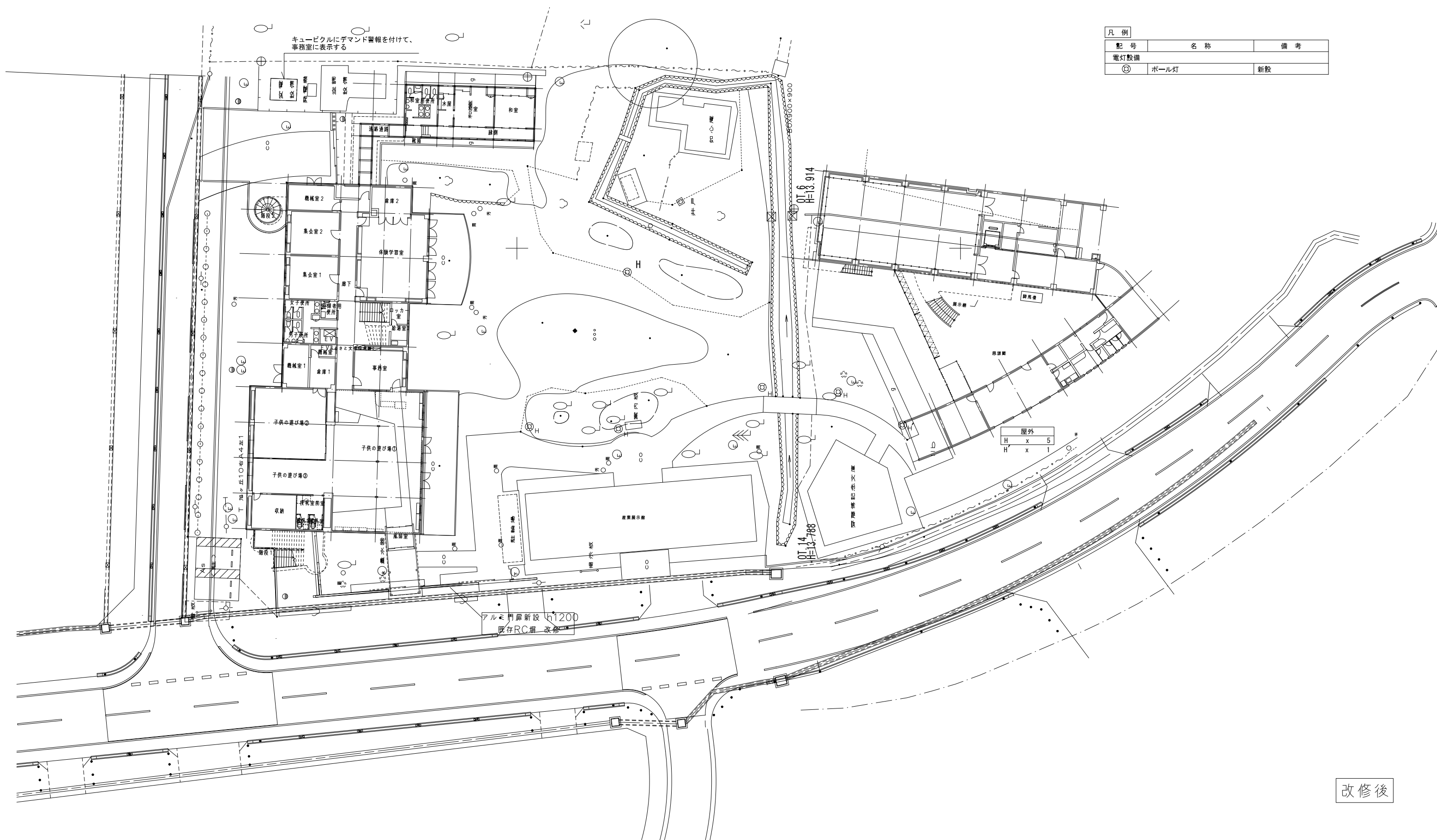
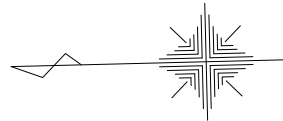
1 完成図書	當機工事完成引渡要領 (令和7年4月1日版)	1部	6 管理の手引き ①工事概要書 ②機器完成図	A 4版: チューブ式ファイル	1部
2 完成図 (縮小)	白紙縮小製本 A 3版: 2つ折り うち1部は設備保護袋	2部	3 機器移動取扱説明書 ④安全に関する案内書 ⑤緊急連絡先一覧表		
3 完成図、施工図 (電子データ)	JIS又はDXF形式のCADデータ及び PDF形式	C D 2枚	7 工事写真 ①施工写真 ②完成写真	A 4版: チューブ式ファイル (着手前、施工状況、完成の各写真) A 4版: ペーパーファイル 完成図に添付	1部 1部
4 機器完成図 ①機器別完成図 ②機材材質証明書 ③機材完成成績書 ④工機試験成績書 ⑤安全設備検査成績書 ⑥機材搬付試験成績書 ⑦総合試験転載成績書	A 4版: 製本	1部	8 工事に関する書類 ①施工計画書 ②工事関係書 ③承諾書、保証書 ④協議書 ⑤許可申請書等 ⑥工事進捗又は日報 ⑦安全に関する書類 ⑧業務改善報告の写し ⑨許可交付への届出書	A 4版: チューブ式ファイル	1部
5 取扱説明書 ①保守に関する案内書 ②機器移動取扱説明書 ③緊急連絡先一覧 ④各種証明書	A 4版: 製本	1部	9 工事に関する承諾 確認書		



凡 例		
配 号	名 称	備 考
電灯設備		
⊗	庭園灯	
○	アッパー照明	

屋外	
H'	x 6

改 修 前



凡 例		
配 号	名 称	備 考
電灯設備		
⊙	ポール灯	新設

改修後

改修後